

トータル保険だより

2015年5月号



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

《発行元》

有限会社トータル保険

平成27年5月1日 第229号

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田69-28

TEL:0235-25-1315 FAX:0235-25-1064

URL: <http://total-hoken.net/>

白いカーネーション

あれは確か小学校五年生の時でした。担任の先生が、一人一人に造花のカーネーションを手渡ししました。皆、赤いカーネーションをもらいましたが、私には白いカーネーションが手渡されました。四十七名のクラス中、私一人が白いカーネーションでした。私はその造花を受け取りながら、深い悲しみを一人でこらえました。私には母がいけないという事をクラス中に知らせると共に、改めてその事を認識させられました。そして、母の日にカーネーションを贈る風習を憎みました。帰路、学校で必死にこらえていた涙が、みるみるあふれました。この悲しみを一番訴えたいのは、誰よりも母でした。しかしながら、どんなに泣こうがわかめこうが、もはや叶わぬ事でした。その母は、私が五歳になる前に他界してしまっているのですから。まだ誰も帰宅していない我が家で、一人号泣する他ありませんでした。

この日の出来事を父や兄姉たちには、一言も話しませんでした。家族の悲しみも私同様なのですから、なぐさめてもらおうわけにはいきませんでした。

一体どういいういきさつで、母の日のための造花がクラス中に配られる

たのか知りませんが、何とも思慮のない事をしてくれたものです。たった一輪の、それも造花の白いカーネーションのために、この日は私の人生のうちで特に悲しい日として、脳裏深く刻まれる事になったのです。皆と一緒に、皆と同じでありたい事を、切なく願う年頃の子どもに、一体なぜわざわざそんな事をしてくれたのでしょうか。子どもの心をつかりとつかんだ先生だったら、どんなに救われたかと思えます。毎年母の日には、必ずこの日の事が思い出され、やるせなくなるのでした。年経って、ある日のこと、姉から祖母の訃報が私のもとに届きました。私は百歳で天寿を全うした祖母に、お供えの花は何が何でも赤い花と決めて、赤いカーネーションをお供えしました。薄暗い床の間に、赤いカーネーションのお供えがよく映えて、とても美しかった。母には赤いカーネーションを贈れなかったけれど、祖母がかわりに受け取ってくれたような気がしました。

母が亡くなった時、父と私と並んでひざまずき、母の棺に入れたのは白い花だった事だけは覚えています。かつて、たった一輪の造花のために泣いた、そのこだわりのある花を、今は夫が時々、花束ごと贈ってくれるのですから、まさに泣き笑い人生です。



新スタッフ紹介

大川 優平 です。

五月一日よりトータル保険に入社しました。四月までは、損保ジャパン日本興亜の研修生として三年間、多くのことを学ばせていただきました。まだまだ、日々学ぶことの多い毎日ではありますが、お客様はじめ、周りの方々に支えられていることを忘れず、精一杯頑張っております。

『お客様の生涯のベストパートナー』となる為、これからも日々成長していきます。どこかで見かけた際には、是非お気軽にお声をおかけ下さい。

これからも、どうぞよろしく
お願いいたします。



ストレスの語源は「歪み」「重荷」という意味。ストレスによるトラブルとは、何らかの原因によって脳の働きに歪みが生じて、心や身体がうまく機能しなくなった状態だと考えることができます。ストレスの原因には睡眠不足、過労、身体疾患といった生物学的なものから、騒音や温度といった環境的なもの、それに仕事上のトラブル、会社での人間関係、家族や地域社会との関係など様々なものがあります。こうした原因をすべて取り除くことができればいいのですが、現代社会の生活を振り返るとあまり現実的ではありませんね。そうすると、ストレス対策のポイントは、いかにうまく付き合うか、やり過ぎずかということになります。小さなストレスであっても、ため込むと

脳の働きに悪影響を与えることがあるので、その日のうちに解消する工夫をすること、毎日上手にやり過ぎることが大切なのです。そのためストレス対処法として、3つの「R」が大切だとされています。

●レスト(Rest・休養)

脳と身体の休息のために良質な睡眠。

●リラクゼーション

(Relaxation・癒し)

アロマなどの香り、音楽、軽い運動も効果的。

●レクリエーション

(Recreation・活性化)

塗り絵や楽器の演奏など手を動かして没頭できる作業が有効。それぞれの頭文字をとって「3つのR」。



◆営業時間

朝9時から夜7時まで

◆お手伝いできること

- ・家計の見直し(生命保険・火災・自動車保険全般)
- ・住宅ローンアドバイス、ライフプラン作成、遺言アドバイス、相続アドバイス(生命保険の活用含む)

◆主な資格

- ファイナンシャルプランナー (AFP)
- 認定保険代理士
- 相続診断士
- 住宅ローンアドバイザー



サラリーマン川柳

日本全国三三三、六〇五句の中から選ばれた優秀100句。第27回サラ川を彩る傑作の数々をご紹介します。今回は5作をご紹介します。



- ① 「イイネ」には、「どうでもイイネ」が 約五割
- ② やられたら やり返せるのは ドラマだけ
- ③ 「オレオレ」に 爺ちゃん一喝 「無礼者！」
- ④ いつやるの? 聞けば言い訳 倍返し
- ⑤ わんこより 安い飯代 ワンコイン

えふぴーカフェ:暮らしとお金のミニ情報



◆相続について

「相続」と聞いて、一番に思い浮かぶ事は何でしょう? 「お金持ちの相続って大変そう・・・」でも、うちはそんなに財産があるわけじゃないから大丈夫。と、思っていらっしゃいませんか?平成27年1月から5,000万円+法定相続人の数×1,000万円から3,000万円+法定相続人の数×600万円へ(40%縮小)しました。しかし、相続でもっとも深刻な問題は、相続した不動産、有価証券、現金、の分け方「遺産分割」です。相続分割事件全体の中で、相続税がかからない遺産分割でもめている件数が、なんと全体の74.2%を占めています。驚くことに、1,000万円以下で争っている件数が全体の30%を占めています。わずか300万円の現金の分け方でも、間違えるともめるときはもめるのです。

「相続」が「争族」になってしまうのは、他人事ではないのです。遺産が多いからもめるわけではなく、誰でも「争族」になる可能性を持っているのです。もっと身近に「相続」について気軽に相談できる人がいれば、74.2%の人は裁判所に助けを求めなくても良かったかもしれません。そんな不幸を未然に防ぎ、「笑顔で相続」を迎えるお手伝いをするのが、『相続診断士』です。

ファイナンシャルプランナー・相続診断士・住宅ローンアドバイザー:大川 淳